

# 令和5年度 学校自己評価システムシート（私立 立教新座中学校）

目指す学校像	キリスト教に基づく人間形成を实践し、自由と自律を尊重する開かれた学校を目指す。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着と旺盛な学習意欲を育成し、真理を探究する力を養う。</li> <li>価値観の違いを認識して、その経験を糧に大きな視野を備えた人物を育成する。</li> <li>キリスト教に基づく隣人愛としなやかな個性を育成する</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学校関係者評価		
出席者	学校関係者	9名
	生徒	名
	事務局(教職員)	4名

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標			年度評価（3月31日現在）		実施日2024年6月10日		
番号	課題	課題に対する取り組み	達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	・教職員研修	・研修への参加奨励	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科、部署、部活動等における研修に参加</li> <li>人権教育推進委員会主催講演会「SOSの受け止め方～生徒と教師の心を守るために～」受講</li> <li>ハラスメント防止対策委員会主催講演会「部活動におけるハラスメント防止 生徒の自律性・主体性を育むコーチング」受講</li> <li>学院主催のハラスメントに関するオンライン研修（3回）、内部公益通報の取扱いに関するオンライン研修受講</li> <li>応急処置研修会、心肺蘇生法実習の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の充実</li> <li>研修を受けやすい環境の整備</li> <li>非常勤講師を含む教職員全体に対する研修への参加奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を取り巻く社会の変化に対応した研修に積極的に参加し教職員としての指導力の向上を図っていることは評価できる。</li> <li>積極的な研修の実施は評価できる。教育活動を円滑に行うためにもハラスメントのない環境作りを望む。</li> <li>「部活動におけるハラスメント防止、生徒の自主性・主体性を育むコーチング」の研修は重要で必須である。</li> <li>学院主催のハラスメント研修は非常勤勤務員も受講の徹底を望む。</li> <li>新座、池袋間の教員交換は、学校及び一貫連携の充実のためにも必要と思う。</li> </ul>	
	・教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した教育活動の充実</li> <li>教務新システムBLENDへの移行</li> <li>ICT環境の整備</li> <li>各施設・設備・安全および老朽化対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年で同じ端末（iPad）が行き渡り、ICTを活用した教育活動を展開</li> <li>定期試験答案のデジタル返却試行</li> <li>教務新システムBLENDを利用した通知表のデジタル開示、メール配信の試行</li> <li>ICT環境の整備（本館・3号館ネットワークコアスイッチ更新）</li> <li>施設・設備・安全及び老朽化対策（3号館避難器具交換、体操場競技用床改修、体育館床メンテナンス、野球場簡易整備、本館及び体育館照明LED改修、セントポールズフィールド日除け設置、駐輪場更新、窓ガラス飛散防止フィルム貼付、構内バスロータリー側道拡張工事、東北通り沿い外柵塗装）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新教務システムBLENDの利用拡大</li> <li>出席簿のデジタル化</li> <li>配布資料のペーパーレス化</li> <li>ICT環境の整備（基幹サーバー更新、PC教室3・4・5更新、図書館システム更新）</li> <li>施設・設備・安全及び老朽化対策（野球場簡易整備、セントポールズジム内部室及び野球部部室空調設置、2号館普通教室床改修、セントポールズフィールド改修【公認継続による】）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>BLENDによる情報配信は、情報が一覧で残るためとても良い。保護者への伝達手段として高く評価できる。紙で配布したのもBLENDで配信してほしい。</li> <li>ICT環境の整備を積極的に取り組んでいることは評価できる。充実することにより満足度の高い幅広い学びに繋がることに期待する。</li> <li>老朽化施設の対策がなされ、安全面の対応がなされていることは評価できる。</li> <li>LED化の前と後の料金の比較し、生徒に周知して身近な材料で環境問題、SDGSへの関心を誘えるといい。</li> </ul>
2	・人権教育やボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育の充実</li> <li>ボランティア活動の奨励、機会の提供</li> <li>いじめ・ハラスメント問題の啓蒙活動</li> <li>いじめ防止対策の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権週間（6月）に各学年担当者がチャペルアワーで講話</li> <li>学年ごとにテーマを決め人権教育実施（1学期末、高3のみ2学期）</li> <li>いじめアンケートを各学期1回実施</li> <li>教職員人権研修、ハラスメント防止研修実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育の継続</li> <li>実施可能なボランティア活動の機会提供</li> <li>いじめ・ハラスメント問題の認識深化に向けた啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止、ハラスメントに対する啓発活動には力をいれてもらいたい。</li> <li>チャペルアワーを利用しての人権教育の取組は良い。</li> <li>人権教育、ハラスメント教育はぜひ継続してほしい。</li> <li>学院全体でのボランティア活動が増えることを望む。</li> </ul>	
	・情報リテラシー教育	・インターネットの安全な利用やマナーの指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年、外部講師による講習会を実施</li> <li>保護者対象の講習会を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>講習会の継続</li> <li>iPadの適正な利用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの利便性と危険性をしっかりと伝えてほしい。</li> <li>保護者に対しても情報発信をしてほしい。</li> </ul>
	・グローバル教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校のグローバル教育の推進</li> <li>立教英国学院との派遣留学学校の推進</li> <li>リーダーシップの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国サマーキャンプ実施</li> <li>ブリティッシュヒルズ英語研修実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>立教英国学院への留学制度推進</li> <li>留学生受け入れ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外に向けての複数のプログラムがあり、グローバル教育に力を注いでいることが分かり評価できる。継続してほしい。</li> </ul>
3	・学校生活の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動のサポート</li> <li>スクールカウンセラーとの連携</li> <li>特別支援教育の充実</li> <li>学校活動の可視化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活のアンケートを各学期に実施。心配な生徒についてはその後担任面接、さらにスクールカウンセラー等の面接実施。</li> <li>特別支援教育委員会主催の教職員向け講演会を実施</li> <li>特別支援対象の生徒のスクリーニングの実施</li> <li>広報誌のweb化</li> <li>Facebook、Instagramの充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会や同窓会との連携強化</li> <li>広報活動の継続と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒との面接の機会が丁寧に設けられており評価できる。</li> <li>学校が配信しているFacebook、Instagramは、学校生活の様子を知ることが出来、また画像からも愛情を感じる。UPされるのを心待ちにしている保護者が多い。</li> </ul>	